

# 『朗読と著作権 —朗読愛好家と著作権者との共存共栄のために』

著者：定武禮久<sup>じょうぶのりひさ</sup> 2009年11月刊

## はじめに

### 第1部 朗読の著作権法上の扱いを理解しよう！

#### 第1章 朗読愛好家のための著作権の基礎知識

- (1) はじめに
- (2) 著作権の概要
- (3) 朗読に関係する著作権
- (4) 著作権の制限（著作権が及ばない場合）
- (5) 朗読が認められるケース
- (6) 要約とまとめ

#### 第2章 著作権法での「朗読ネット配信」の位置づけ

- (1) 著作権法上の「口述」には、ネット配信は含まれない
- (2) 非営利・無償の朗読ネット配信でも、著作権者の許諾が必要

#### 第3章 朗読に十分な認知を与えていない著作権法

- (1) 「音訳」が「朗読」かで権利保護が大きく変わってしまう矛盾
- (2) 編集著作権、レコード製作者・放送局の隣接権との関係での不公平
- (3) 朗読に十分な認知を与えるよう著作権法の改正を

### 第2部 朗読を思い切り楽しもう！

#### 第1章 多彩な朗読を聴いて楽しもう！

#### 第2章 朗読ブログを開設して、朗読を発信しよう！

#### 第3章 無料で朗読してネット配信できる作品はこんなにある！

#### 第4章 iTunes-storeに朗読ブログをpodcast配信しよう！

#### 第5章 自前で朗読付き電子ブックビューワーを作ろう！

#### 第6章 批評と朗読を組み合わせた「批評作品」を作ってみよう！

### 第3部 朗読ネット配信こそが、文芸作品を蘇らせ後世に残す！

**第1章 文芸以外のコンテンツは、流通を活発にする仕組みを構築しつつある！**

- (1) JASRAC と手塚プロが打ち出した大胆な流通促進策
- (2) ビジネス書等では、電子書籍、オーディオブックが続々と

**第2章 文藝家協会への期待その1—自由利用可の作品データベース構築を！**

- (1) 注目すべきクリエイティブコモンズによる自由利用の動き
- (2) 三田構想の「青空文庫フリー」データベースには、是非朗読も

**第3章 文藝家協会への期待その2—個人に対する朗読許諾環境の整備を！**

- (1) 現行の使用許諾業務の問題点
- (2) 三方一両得の朗読使用許諾の枠組み構築を

**第4章 文藝家協会への期待その3—障害者向け録音図書を一般に有料開放を！**

**第5章 朗読の流通促進の新ビジネス創出を期待！**

- (1) インディーズ音楽並みの朗読のネット配信システム構築を
- (2) 三田構想はこういう形で実現してほしい

**第6章 朗読音声版「初音ミク」の実現に期待！—合成音声技術がもたらす新展開**

- (1) 飛躍的進歩を遂げつつある合成音声技術
- (2) 合成音声技術と音訳

## **第4部 著作権をめぐる熱い話題を少し角度を変えて考える！**

**第1章 著作権「保護」期間の延長は、作品を忘却の彼方に追いやる！**

- (1) 「保護期間」延長は、実質的に「排他期間」の延長に
- (2) 議論を混迷させる不幸な誤解と思い込み
- (3) 同じ創造活動なのに特許法等と比較した保護のアンバランス
- (4) 夏目漱石の著作権保護期間切れと夏目家の様子

**第2章 グーグルブック検索の和解案には、冷静な対応を！**

- (1) 世間一般の理解と構図が異なるのでは？
- (2) 冷静な対応により、四方一両得の実現を

**あとがきに代えて**